



～ごあいさつ～

朝夕は冷え込む季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

さて、稲沢市議会では9月定例会が開催され、重要な補正予算案などが可決・成立いたしました。主な内容としては、「中日ドラゴンズファーム拠点誘致支援業務委託料」や、「病院事業会計の資金不足に対する赤字補填としての病院事業出資金」などが計上されております。

また、今年の夏は各地で多くの自然災害が発生いたしました。7月28日の熊本地震をはじめ、今年の8月に発生した千葉県を中心とする豪雨など、各地の被災地で被害を受けられた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

さらに、私たちの住む稲沢市においても、9月8日に発生した線状降水帯による大雨により、各地で道路冠水が発生し、市内でも床下浸水16棟(稲沢市発表)の被害が出ました。被害に遭われた皆さまに、重ねて心よりお見舞いを申し上げます。今回の被害状況をしっかりと検証し、今後の確実な防災・減災対応に取り組んでまいります。

これからも「地域課題を現場の力で解決する」という原点を胸に、「ひと」づくりと「まち」づくりを進め、持続可能な地域社会の「みらい」を切り拓きながら、市民の皆さまに「笑顔」をお届けできるよう全力で邁進してまいります。

9月定例会のご報告をさせていただきます。ご意見、ご感想をいただければ幸いです。



稲沢市議会議員 星野 俊次

☆地域活動やイベントは、活動の「原点」です！

皆さんと参加してお話を伺う中で、気づきや地域課題を見つけることができます。お気軽にお声をおかけください。



夏の交通安全啓発活動



地元小学生の議場見学



秋まつり

ご意見・ご要望をお待ちしています！

TEL/FAX:0587-32-9905
E-mail : shunji@pastel.ocn.ne.jp

【プロフィール】

1975年愛知県稲沢市生まれ
稲沢市議会議員（6期）

議会活動

- ・総務委員会委員
- ・議会改革推進
特別委員会委員長
- ・広報広聴委員会委員

家族：妻と一男一女の四大家族



稲沢勝手に
応援団長
ほし☆のん

～ 9月定例会～

9月定例会は、9月3日から9月30日までの会期で開催されました。

定例会では、市長から「稲沢市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例について」など議案17件、報告4件が提出され、いずれも原案どおり可決・報告されました。また、「令和7年度稲沢市一般会計歳入歳出決算認定について」などの認定9議案については、決算特別委員会が設置され、閉会中の継続審査となりました。このほか、「教育委員の選任について」など人事同意案3件が同意されました。

また、「定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書」を全会一致で可決し、内閣総理大臣等へ提出しました。なお、議会役員の改選も行われ、六鹿議長、志智副議長、吉川監査委員がそれぞれ選出されました。

～一般質問の発言内容～

9月10日に一般質問を行いました。

1. 稲沢市の財政状況と今後の財政運営と方向性について
2. 地域課題の解決に向けた取り組みについて
 - (1) 現状の取り組みについて
 - ア. 市民協働・官民連携・産学連携等について
 - (2) 今後の展開について
 - ア. 共創社会の実現に向けて
3. 学校教育について
 - (1) 教職員の確保と働き方改革の現状
 - (2) 養護教諭の配置と支援体制の充実
4. まちづくりについて
 - (1) 中日ドラゴンズファーム拠点の誘致
 - (2) 今後の展開について

※私の一般質問は、右記QRコードから視聴可能です。



令和8年9月定例会 一般質問 発言内容



～質問概要～

【財政に関する質問】

稲沢市の財政状況は、経常収支比率の上昇に加え、市債残高も増加傾向にある。また、財政調整基金については2年連続で取り崩しを余儀なくされており、一般会計全体における基金残高も減少している。今後の財政運営の考え方について。

【稲沢市の考え】

今後は、賃金上昇に伴う個人所得の増加による市税増など、一部で経常一般財源の増加は見込まれるものの、人件費や物価高騰に伴う事業費の増加を相殺するほどの大幅な増加は見込めず、経常収支比率は上昇傾向が続くと考えている。加えて、これまで財政的に有利で交付税措置率が高かった「合併特例債」の活用が令和7年度で終了し、今後は事業実施にあたり特定目的基金を活用せざるを得ず、一段と厳しい財政状況が続く見通しである。

今後は、住居系市街地の形成をはじめとした基盤整備や企業誘致を進め、固定資産税などの安定的な財源確保に努めるほか、これまでの手法にとらわれない抜本的な事業見直しを行い、将来負担の軽減・最適化と持続可能な財政運営に取り組んでいく。

【星野の考え】

稲沢市の財政は、人件費や物件費といった不可避な歳出増に対し、現行の行政サービスを維持するために「貯金」である財政調整基金を取り崩さざるを得ず、市債発行額も増加するなど、大変厳しい状況にあります。どのような経済状況下であっても市民生活を守り抜き、持続可能で効率的な財政運営を推進することは、稲沢市の最優先課題です。

短期的には「事業の選択と集中」による効率化を、中長期的には「持続可能なまちづくりの形成」や「積極的な企業誘致」を強く提言してまいります。

～質問概要～

【共創社会に関する質問】

地域課題解決へ、官民や大学等の連携とDXで持続可能な共創社会の思想を、稲沢市の基本理念に導入するか。

【稲沢市の考え】

人口減少が進む今後のまちづくりでは、行政中心から、市民・団体・企業・学校など多様な主体と知恵を出し合う関係への転換が不可欠である。

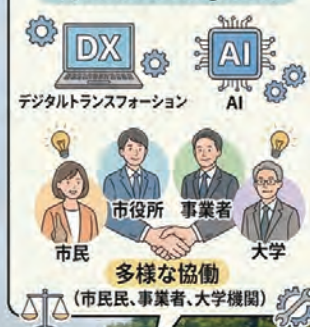
例えば「いなざわ観光まちづくりラボ」はその萌芽といえる。今後はこうした市民協働の基盤を継承しつつ「協働」をさらに深化させ、対等なパートナーシップのもとでプラットフォームを形成し、地域課題の解決や新たな価値を共に創出する「共創」へと発展させていく。

【星野の考え】

「大学（官学）×地域住民（市民協働）×企業（官民）」が一体となった施策の相乗効果を生み出し、各分野の強みを最大限に活かして「共創社会」を実現するためにも、組織体制の見直しや事前相談窓口の統一から内部で検討して、着手するべきであると提言しました。

共創社会 (Co-Creation Society) の実現に向けて

共創社会への見解 (Question & Background)



稲沢市の考え プラットフォーム



星野俊次議員の提案



【中日ドラゴンズファーム拠点誘致に関する質問】

JR清洲駅西側を選定した具体的経緯と立地の強み、周辺のインフラ整備や交通アクセス、まちづくり計画との連携、事業費の上振れリスクも含めた現時点での将来構想について。

【稲沢市長の考え】

球団の提示条件を踏まえ、2030年代前半までの移転に向けた事業実現の可能性を最優先に、開発面積や交通環境を総合的に検討した結果、JR清洲駅西側を選定した。

誘致は単なる施設整備にとどまらず、JR清洲駅西口整備や周辺道路等のインフラ改善を通じ、沿道開発や利便性向上へ波及させる計画である。全国的な知名度向上と新たな人の流れを生む「まちづくりの起爆剤」と期待している。他自治体との厳しい競争や財政面での課題はあるが、市民や事業者の応援を得て誘致実現へ邁進する。

【星野の考え】

ファーム拠点誘致は市の持続的発展に大きく寄与する一方、他市に比べ候補選定や市民へのPR不足が懸念されます。丁寧な市民説明と合意形成を進めつつ、将来の財政負担とならない持続可能な事業スキームかを注視していきます。



～主な補正予算内容等について～

☆稲沢市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例について

★内容：燃料費や人件費の高騰によるごみ処理コストの上昇に伴い、一般廃棄物処理手数料の改定を行う。

200円／10kg（改定前）→300円／10kg（改定後）

開始期間：令和9年4月1日から



環境センター

☆中日ドラゴンズファーム拠点誘致支援業務委託

1,200万円

★内容：地域経済の活性化、交流人口の拡大、本市の知名度の向上のため、中日ドラゴンズファーム拠点の誘致に向けた経費を計上するもの。

☆総合文化センター等跡地整備・運営事業費（債務負担行為）

24億1,990万円

★内容：令和12年度の新施設供用開始に向け、令和8年10月から公募型プロポーザル方式で事業者を選定し、設計、建設、維持管理・運営まで含めてDBO（デザイン・ビルド・オペレーション）方式で令和9年7月に事業契約を締結する。

期間：令和8年度から令和27年度まで

※デザイン・ビルド・オペレーション：国や自治体が資金調達し、民間事業者が施設の設計・建設・運営を一括発注する公共事業の手法



現在の総合文化センター跡地

【愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会が開催されました】

4年に一度開催されるアジア最大のスポーツの祭典「愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会」が開催されました。稲沢市では、JR稲沢駅にてアジア競技大会の聖火リレー、いなざわ特別支援学校にてアジアパラ競技大会の採火式が行われ、地域全体が大きな熱気に包まれました。

【エントリオで熱戦！「稲沢DAY」も実施】

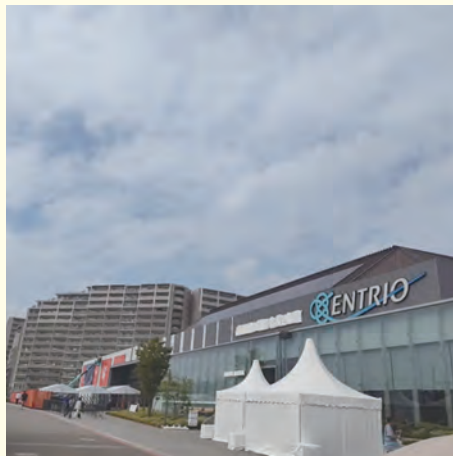
稲沢市のエントリオ（豊田合成記念体育館）はハンドボール競技の会場となり、9月20日（日）～29日（火）の期間中、8日間にわたって熱戦が繰り広げられました。大会期間中には「稲沢DAY」が開催され、市民120組240人を招待して市を挙げた声援を送りました。激闘の末、日本代表は男子が「銅メダル」、女子が「銀メダル」を獲得する快挙を成し遂げています。

【ボランティア参加と今後のレガシー継承に向けて】

私自身もボランティアスタッフ「ONE ASIA CREW」の一員として、現地でサポートに携わらせていただきました。この大会の感動とレガシーを、稲沢市の発展にどのように繋げていくのか、しっかりと取り組んでまいります。



聖火リレーセレモニー



ハンドボール会場(エントリオ)



ボランティア活動に向かう途中で